

洞爺高校

平成20年度環境保全
活動功労者表彰を受賞

グリーン洞爺」や「花いっぱい運動」など永年の環境美化活動が認められ、洞爺高校が平成20年度環境保全功労者表彰を受賞しました。同賞は、胆振管内では4年ぶり。

6月9日には、役場で伝達式があり、胆振支庁の寺脇康文地域振興部長から、矢尻英理華さん(生徒会副会長)に表彰状と副賞が授与されました。矢尻さんは「がんばってやっ



表彰状を受け取る矢尻英理華さん(右)

町内会活動に尽力

福井連合会長 北海道知事感謝の表彰を受ける

5月27日創立30周年記念北海道町内会連合会大会が、札

きたかいがありました」と笑顔で受賞を喜んでいました。



福井 政吉さん

幌市で開かれ、洞爺湖町連合会長の福井政吉さんが、北海道知事感謝(特別表彰)の表彰を受けました。

そのほか、道共募会長感謝(特別)として伊藤博さんと原昌明さんが受賞。島本清さんが単位町内会・自治会組織会長特別表彰、島山三男さんが市町村連合町内会役員特別表彰をそれぞれ受賞しました。

サミット記念モニュメント 制作費500万円

若狭 洋市さん 町に寄付

若狭洋市さん(瀬わかさいも本舗会長)が、町にサミット記念モニュメントの製作代として500万円を寄付し、6月16日役場を訪れ、長崎町長に目録を手渡しました。

同記念碑は、高さ約2メートル

のブナの葉をイメージしたステンレス製のモニュメントで、わかさいも本舗裏側の湖畔道路沿いの町有地に設置。

安倍前首相が、北海道洞爺湖サミットという正式名称を、初めて記者発表した場所ということもあって、「北海道洞爺湖サミット宣言の地」という題字は、同氏の直筆になっています。

若狭さんは、サミット開催後も開催地としての洞爺湖が忘れ去れないよう、記念的なもの必要性を感じていて、社会福祉活動などに熱心だった亡き母

きさんから「町のため役立てて欲しい」と生前預かったお金を、この記念碑制作費に充当。若狭さんは「新たな観光スポットとして、多くの観光客が訪れていただければ、亡き母も喜んでくれると思います」と感慨深げに話していました。



目録を渡す若狭洋市さん(左)

大西 疏さん 郷土の映像を町に寄贈



大西疏さん(洞第1)は、合併後の町内の行事などを写したビデオ8巻を、この度町に寄贈しました。

大西さんは、平成3年から本格的に「郷土を映像で残しておこう」とビデオ撮影を始めました。

旧洞爺村の時代から今回まで68巻のビデオが寄贈されています。

今回は、合併後の初の表彰式、洞爺湖芸術館のオープン、英国青年の活動の様子などを記録。

大西さんは、「旧洞爺村をはじめ郷土の歴史がつづられているので、見て郷土について考えてもらいたい」、「今後もこの活動を続けて、郷土の歴史を伝えて生きたい」と熱く語っていました。

ビデオは、洞爺総合支所の社会教育分室にあり、貸出をしていますので、お気軽にどうぞ見てください。

とうや湖踊る社中

2年連続奨励賞を獲得

札幌市で開かれた「2008 YOSAKOIソーラン祭り」に、今年もとうや湖踊る社中が出場しました。

今年も、サミット開催もあって、曲、振り付けと衣装を一新し、サミット参加国の国旗も加える演出で、関係者や来場者などから高い評価を得ました。その結果、昨年に続いて今年も奨励賞を受賞。



サミット開催もアピールしたとうや湖踊る社中

会員らは、連続受賞に喜びいっぱいでした。